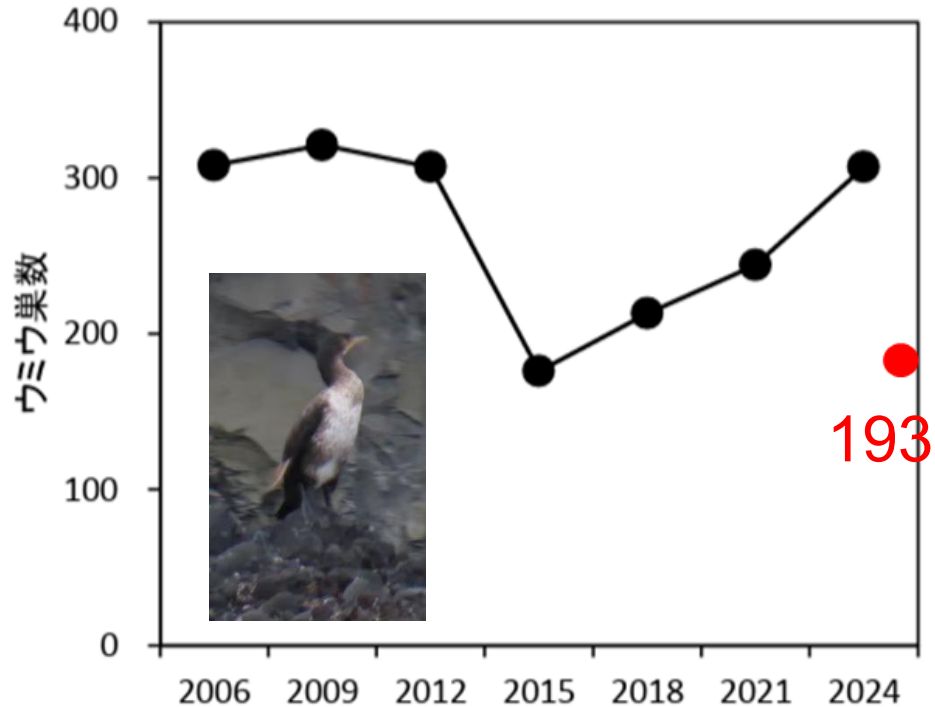


# 北海道大学チーム調査内容

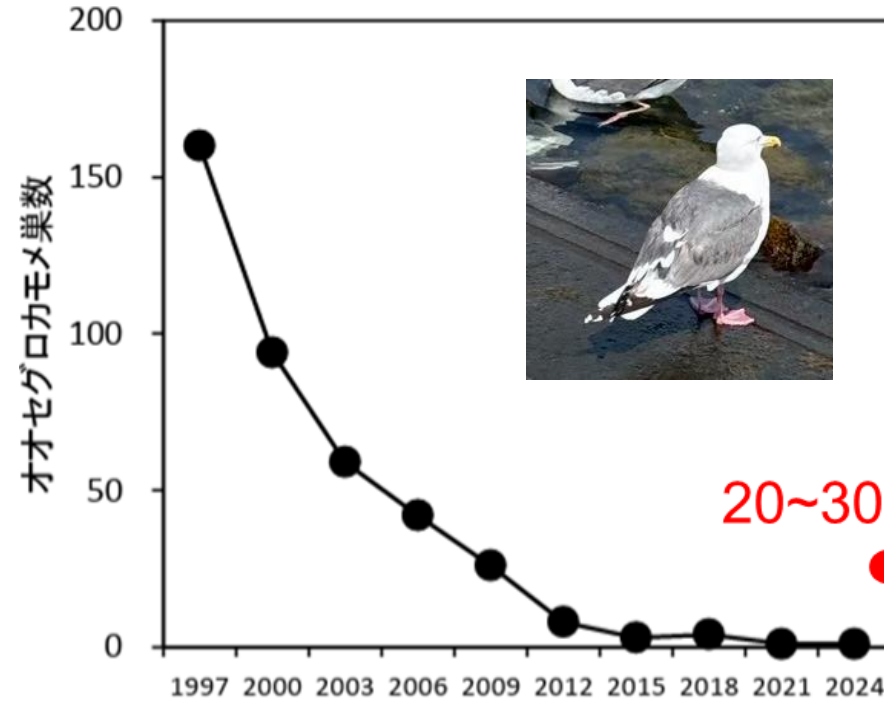
- **海鳥繁殖数センサス**
  - ウミウ
  - オオセグロカモメ
  - ウミネコ
  - ウトウ
  - コシジロウミツバメ
- **ウトウ餌モニタリング**
- **音声レコーダー設置**



# 海鳥繁殖数センサス：ウミウ・オオセグロカモメ・ウミネコ



※過去の調査は島の一部のみ対象  
今回は島全体を調査



(環境省自然環境局生物多様性センター (2025) モニ1000)

ウミネコ  
2024：最低91巣  
今回：数巣  
(個体数は**1350**)



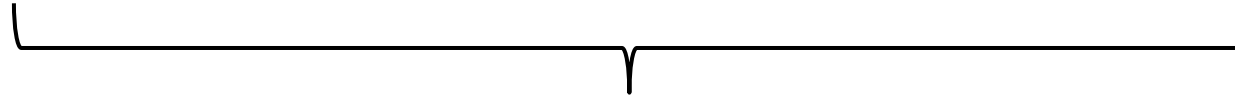
ウミウ：既に巣立ちをしている巣があったため、減少して見えた可能性

オオセグロカモメ：2024年に調査地点外で17巣の記載から、変化が少ない可能性

ウミネコ：オジロワシの攪乱 → 繁殖失敗した可能性

# 海鳥繁殖数センサス：ウトウ・コシジロウミツバメ

推定繁殖数 = 各植生面積 × その植生の平均巣穴密度 × 巣穴利用率



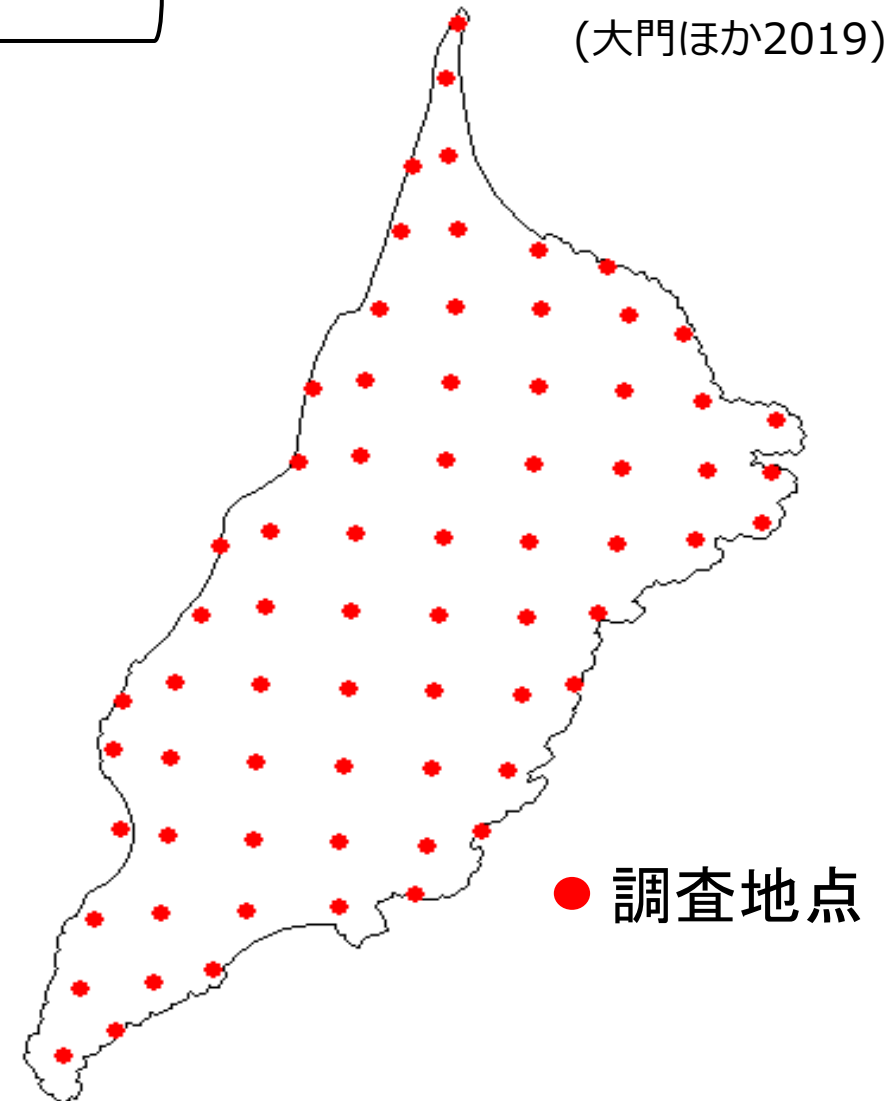
推定巣穴数

(大門ほか2019)

**2m×10m** 矩形区を設置 (**150 m** 間隔)

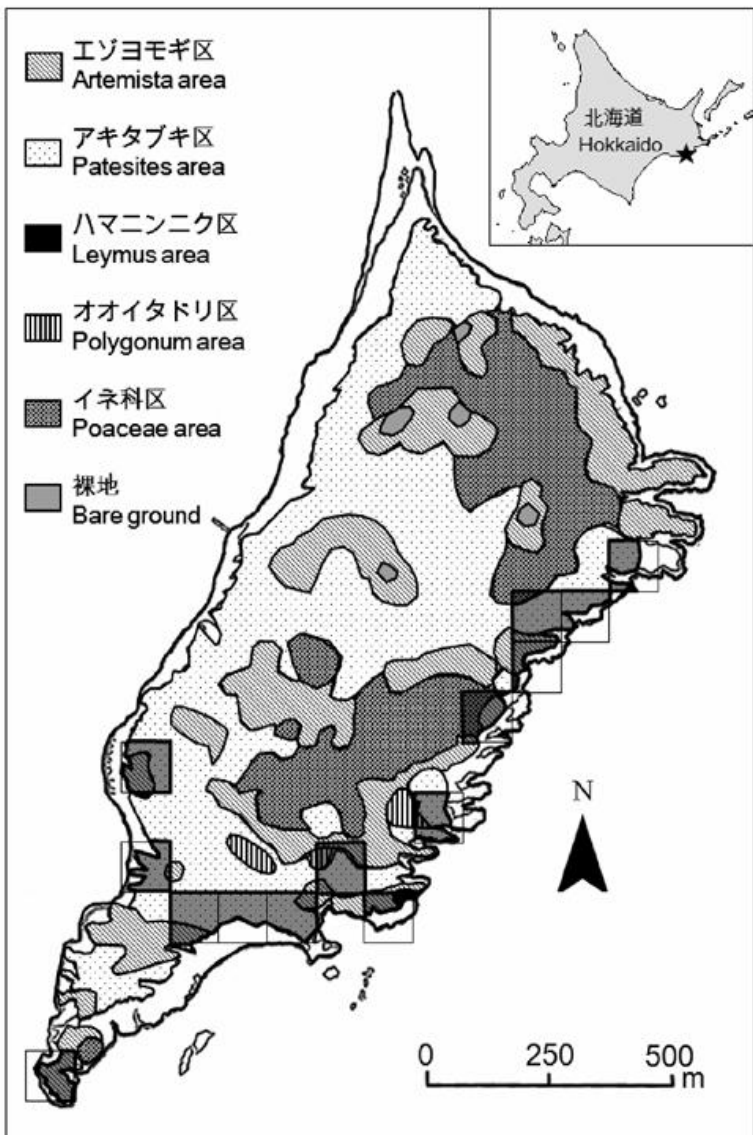
短形区内の巣穴数より、**巣穴密度**算出

- ウトウ巣穴数
- コシジロウミツバメ巣穴数
- コシジロウミツバメ利用巣穴数  
(雛の有無を確認。一部地点のみ実施)
- 植生

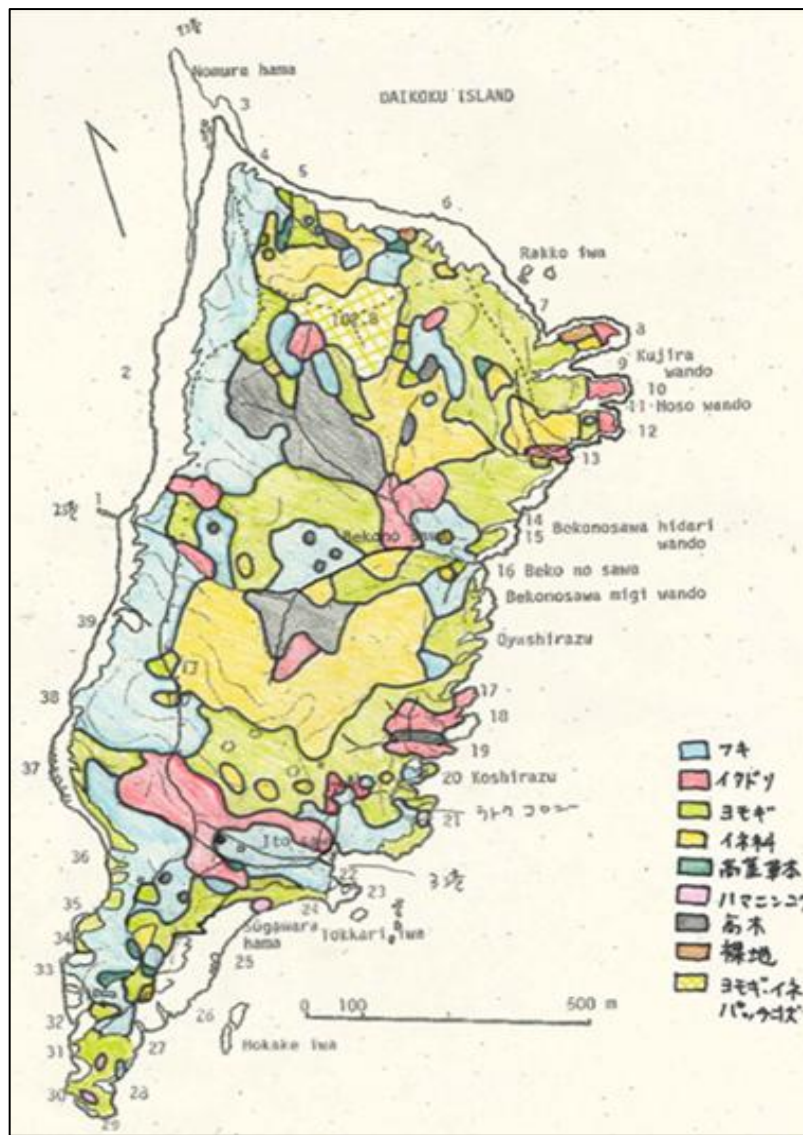


# 植生分布図

2014年の調査結果(大門ほか2019)



今回 (2025年) の調査結果



## 植生の変化

フキ	半分
イタドリ	1/8
ヨモギ	同程度
イネ	同程度

# コシジロウミツバメ、ウトウの巣穴密度、利用率

	巣穴密度 (/m <sup>2</sup> )		コシジロウミツバメ巣穴利用率 (%)	
	コシジロウミツバメ	ウトウ	使用数/総巣穴数	地点数/各地点の 利用割合の合計
イタドリ	1.07 (7)	0.083 (8)	—	—
イネ	1.15 (10)	0 (9)	71.43 (25/35)	71.9 (1)
フキ	0.383 (17)	0.092 (17)	48.81 (41/84)	49.3 (8)
ヨモギ	1.07 (20)	0.242 (20)	39.29 (33/84)	46.85 (2)
高茎草本	0.178 (3)	0 (3)	—	—

( )内はサンプル数

コシジロ巣穴密度：イネ>イタドリ=ヨモギ>フキ>高茎草本

ウトウ巣穴密度：ヨモギ>フキ≧イタドリ>イネ・高茎草本

コシジロ利用率：イネ>フキ>ヨモギ

**植生によって巣穴密度が異なる。好む植生は種によって異なる。**

# ウトウ

**巣穴密度 × 植生面積 = 推定巣穴数**

2014年の調査結果：**77,734** (大門ほか2019)

今回：**91,256**

この調査手法は、**結果の誤差が大きい**ため、**巣穴数に大きな変化はない**可能性が高い

植生	面積 (/m <sup>2</sup> )	巣穴密度 (/m <sup>2</sup> )	巣穴数
フキ	242,802	0.092	22,217
イタドリ	79,742	0.083	6,645
ヨモギ	258,182	0.242	62,394
イネ	174,153	0	0
高茎草本	5,083	0	—
ハマニンニク	1,627	—	—
高木	58,219	—	—
裸地	663	—	—
total	820,471	0.417	91,256



# コシジロウミツバメ

コシジロウミツバメの雛



巣穴密度 × 植生面積 = 推定巣穴数

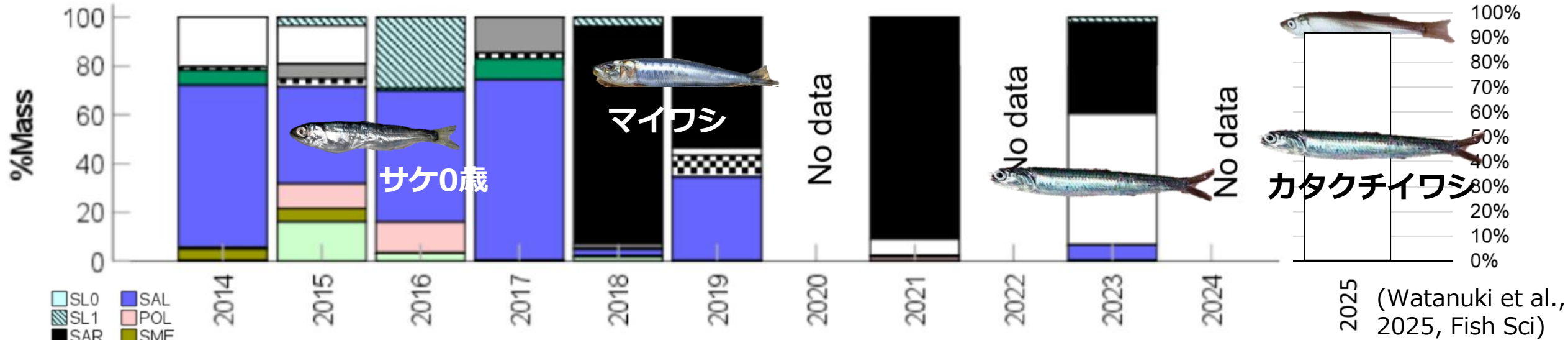
2014年の調査結果：415,674  
(大門ほか2019)  
今回：**656,815**

この調査手法は**結果の誤差が大きい**ため、  
巣穴数に大きな変化はない可能性が高い

植生	面積 (/m <sup>2</sup> )	巣穴面積 (/m <sup>2</sup> )	巣穴数	巣穴利用率	推定繁殖数
フキ	242,802	0.38	92,995	49.30%	45,847
イタドリ	79,742	1.07	85,565	—	—
ヨモギ	258,182	1.07	276,399	46.85%	129,493
イネ	174,153	1.15	200,953	71.90%	144,485
高茎草本	5,083	0.18	904	—	—
ハマニンニク	1,627	—	—	—	—
高木	58,219	—	—	—	—
裸地	663	—	—	—	—
合計	820,471	3.86	656,815	—	319,825

# ウトウ餌モニタリング (実施日7/2, 7/4) と雛測定

## 餌組成重量割合



10年ほど前は雛に運ぶ餌の大部分が**サケ**だったが、5年前から温暖性の**マイワシ**、今年は冷水性の**カタクチイワシ**に変化した  
 ⇒**海の魚の組成の変化を反映している可能性**

## ウトウ雛の測定 (実施日7/3, 7/4) n = 11

翼長は平均123 mm (113-135 mm)  
 重量は平均392 g (355-480 g)

⇒ 巣立ち直前